

特別支援教室だより

令和7年 10月 吉日
巡回拠点大杉東小学校
特別支援教室通信

今年度の「特別支援教室だより」では、一昨年お伝えした「児童のいろいろな困り」に対して、支援方法・手立てなど、巡回指導教員が考えた内容を掲載いたします。

【 今回のテーマ 】



「体を動かすこと」が苦手な子



【 こんなことが考えられます 】

日常生活では、体を動かすことや力を加減すること、目の前にある物の位置や形などを正確に捉えることが常に行われています。この、自分の体のコントロールをするボディイメージと自分以外のものを把握する空間認知能力の2つの力を発揮することで、私たちは状況に応じた適切な行動をとることができます。これらの力が上手く使えないと、運動に苦手さを感じたり、日常生活で困ったりしてしまうことにつながります。

【 できることはなんでしょう 】

【遊び】の中で、ボディイメージ・空間認知能力を高める。

ボディイメージ

- ・真似っこゲーム…相手の動作を見て、瞬時に自分の身体におきかえて、真似します。ボディイメージが未熟だと瞬時に模倣することが難しく、時間がかかったり動きがぎこちなくなったりしてしまいます。

空間認知能力

- ・キャッチボール…ボールの大きさ、速さを把握し、どこに落ちるかを予測する能力を養います。ただ相手にパスをするのではなく、バウンドをさせたり、高い山なりのボールを投げたりすることで、より空間認知能力を刺激することができます。
- ・おりがみ…目標となる形を予測しながら、平面の紙を折り込み立体的な形にすることで、目と手の協応を養い、空間認知能力を高めることができます。

【遊び】以外にも、日ごろの声かけを工夫することでも、ボディイメージや空間認知能力を高めることができます。例えば、動かしている体の部位を「ここを動かすよ」と具体的に示すことや、動かしている体の部位を質問し、意識させることで、ボディイメージを高めることができます。また、「～さんから見て右上の、高い棚にある〇〇を取って」など、意識的に空間を表す言葉を使うことで、空間認知能力を刺激することができます。

本校には5名の巡回指導教員がいます。「特別支援教室」について、ご質問がございましたらご連絡ください。

また、本校のホームページに「特別支援教室だより」を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら

